

【世界史】

第一次世界大戦と世界の変容
女性参政権

～ClassPad.net の各種ふせん・授業支援機能を活用する～

世界各国で女性参政権が認められていった歴史的経緯・背景を考える授業
主要国家における女性参政権の承認年代をもとにして、世界大戦との繋がりを考察する。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：各国における女性参政権成立の歴史的経緯を生徒自身に考えさせることで世界大戦の特徴と女性参政権の成立の双方についての深い理解を促す。
生徒向けの目標：歴史的な出来事同士を結びつけて、それらの関係性や一方が他方に与えた影響について考える力を身につける。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・ **板書時間削減**：考察の材料となる情報を投影するだけでよいので、板書に掛かる時間を削減し、生徒考える時間を十分に確保できる。
- ・ **協働学習促進**：授業支援機能を用いてグループ学習を行う中で、生徒が自身になかった視点を手に入れるなどして視野を広げることができる。
- ・ **学習プロセスの把握**：授業支援機能の提出管理で生徒の学習プロセス把握ができる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

【本日の授業の概要】
〈テーマ〉
女性参政権の成立

〈やること〉
・個人でのワーク
・グループワーク
・全体で共有・講評

〈目標〉
女性参政権成立の歴史的経緯・背景を理解する

目的・概要の説明

女性参政権をテーマに、その歴史的経緯・背景を個人作業、グループワークの二つの形式で考察し、理解するという授業全体の概要と目標を伝える。

授業の概要と目標を示したテキストふせんに提示し、目標と概要を視覚的にも伝える。

step2

【考察のための情報】
表1
主要国(アメリカ、イギリス、フランス、ソヴィエト＝ロシア、ドイツ、日本、イタリア)において、女性参政権が認められた年

表2
同年代の世界での主な出来事

考察材料の提示

主要な国家(アメリカ・イギリス・フランス・ソ連・イタリア・ドイツ・日本)において女性参政権が認められた年代を表の形で提示する。加えて、同年代の世界史年表も提示する。

主要国家で女性参政権が認められた年を示す表と、同じ年代の世界史年表をまとめたファイルふせんに提示・送信する。

step3

【個人作業】
《課題》
女性参政権が成立した年代から、どのような経緯や背景があるのかを考察し、ふせんに書く
〈ルール〉
・提示した考察材料(女性参政権が承認された年代の表、世界史年表)は参照可
・その他の資料(教科書、資料集、インターネットなど)は使用不可
《制限時間》
5分

個人作業(5分間)

step2で提示した情報をもとに、女性参政権がどのようなきっかけで、どのような経緯を辿って成立したのかを考察させる。ここでは生徒に一人で考えさせ、提示した情報以外の教科書などの参照は許可しない。

生徒個人にそれぞれテキストふせんを作成させ、それに個人作業で考えた内容をまとめさせる。

step4

【グループワーク】
《課題》
女性参政権が成立した年代から、その経緯や背景をグループで議論し、ふせんにまとめる
〈ルール〉
・グループでひとつのふせんにまとめること
・提示した考察材料(女性参政権が承認された年代の表、世界史年表)は参照可
・その他の資料(教科書、資料集、インターネットなど)は使用不可
《制限時間》
20分

グループワーク(20分間)

1. クラスをグループに分け、生徒たちにstep3でのそれぞれの考察をグループで共有させる。
2. 生徒は共有した内容をもとに、グループ全体での考察、議論を行い、その内容をふせんにまとめる。教師は後で全体で共有することを伝えておき、わかりやすくまとめるように求める。

グループ内の代表者一名にテキストふせんを作成させた上で、同時編集機能を用いてメンバー全員でグループワークの内容をまとめさせる。また、作成したふせんは授業支援機能を用いてグループのメンバー全員に送信させる。

step5

【全体で共有・講評】
①グループの代表者が、作成したふせんを提出
②全体で共有(他のグループのふせんを読む)
③講評・解説

全体での共有・講評

1. 各グループで議論した内容をまとめたふせんを全体で共有する。
2. 共有したふせんからいくつか選んで講評を行い、解答として必要な要素を伝える。
3. 教員からも補足的な解説を行う。

各グループの代表者は作成したふせんを教員に提出する。教員は提出されたふせんをクラス全体で共有する。講評に使うふせんは電子黒板やプロジェクター等で投影する。教員が用意したテキストふせんやEx-wordふせんも用いて、解説を加える。

step6

【まとめ・宿題の提示】
《宿題》
個人作業で書いたふせんと、グループワークで作成したふせん及び講評の内容を比較して、グループワークや講評を通して新たに気づいたことを次のふせんに書くこと。
個人作業のふせんと自分のグループのふせんとまとめて提出してください。(ピンクのふせん)
《提出期限》
次回授業まで

まとめ・宿題の提示

宿題として、step3の個人作業で作成したふせんと、step4のグループワークで作成したふせん及び講評内容を比較し、グループワークや講評を通して新たに気づいたことをふせんにまとめさせる。生徒はstep3、step4で作成したふせんと共に提出する。

宿題は次回授業時までには授業支援機能で教員に送信させる。

step7

【参考・発展】
イギリスの女性参政権獲得運動をテーマにした映画「未来を花束にして」の予告編映像
興味がある人は是非見てください！

参考・発展

今回の授業内容に関心を持った生徒がより深めることができるよう、イギリスの女性参政権獲得運動をテーマにした映画を紹介する。

映画「未来を花束にして」の予告映像の YouTube 動画の URL を貼り付けたリンクふせんを全員に送信機能で共有し、興味がある人は見るように伝える。